

弓道部の紹介

弓道種目について

弓道は28m先の丸的（直径36cm）を1人が1回に4射し、その的中数を競う競技です。団体競技は1チーム3人（計12射）または5人（計20射）単位で行われます。現在、春に行われる全国選抜大会は3人団体、夏に行われる全国高校総体は5人団体で実施されています。個人戦は、県内から団体戦男女各1校、個人戦男女各2名が全国大会に参加できます。

出雲高校弓道部について

高校弓道日本一を目指して、毎年約30名の部員で活動しています。競技の性質上、激しい練習は不要で、疲労も少なく、出雲高等学校の学業との両立は十分に可能です。適宜休日も設け、各種テスト前は原則休みとしています。

部員全員が出場できる大会が県大会2回、市大会3回あり、代表選手として選ばれるとさらに県大会3回、中国大会・全国大会に出場します。コロナ禍以前は、年間3回の県外練習会にも参加していました。

弓道の練習を通して、人としての正しい道を互いに考えながら生活し、特に挨拶・礼儀に気を配りながら、何事にも自主的な取り組みができるよう心がけています。また、清掃にも力を入れ、部員達は練習前にかかりの時間をさいて弓道場の清掃に取り組んでいます。

近年の全国大会実績 （平成6年度以降、ほぼ毎年度インターハイや全国選抜大会への出場実績がある）

【平成27年度】

- ・インターハイ（2015 君が創る 近畿総体） 男子団体戦（ベスト16）出場、女子個人戦出場
- ・第34回全国高等学校弓道選手権大会 男子個人戦・団体戦（第5位）出場、女子個人戦・団体戦出場

【平成28年度】

- ・インターハイ（2016 情熱疾走 中国総体） 男子団体戦（第6位）出場
- ・第35回全国高等学校弓道選抜大会 女子個人戦出場

【平成29年度】

- ・インターハイ（はばたけ世界へ 南東北総体 2017） 男子個人戦出場、女子団体戦（ベスト16）出場
- ・第36回全国高等学校弓道選抜大会 女子個人戦・団体戦出場

【平成30年度】

- ・第73回国民体育大会弓道競技 本校から1名が出場（遠的の部優勝）
- ・第37回全国高等学校弓道選抜大会 男子個人戦・団体戦（ベスト16）出場、女子個人戦・団体戦出場

【令和元年度】

- ・インターハイ（感動は無限大 南部九州総体 2019） 男子個人戦・団体戦（ベスト32）出場
- ・第74回国民体育大会弓道競技 本校から1名が出場
- ・第38回全国高等学校弓道選抜大会 男子個人戦・団体戦出場

【令和3年度】

- ・インターハイ（輝け君の汗と涙 北信越総体 2021） 男子団体戦（ベスト32）出場
- ・第39回全国高等学校弓道選抜大会 女子個人戦出場

【令和4年度】

- ・インターハイ（躍動の青い力 四国総体 2022） 男女団体戦および女子個人戦出場
- ・第40回全国高等学校弓道選抜大会 女子団体戦および男子個人戦出場

【令和5年度】

- ・インターハイ（翔び立て若き翼 北海道総体 2023） 女子団体戦および男子個人戦出場
- ・第41回全国高等学校弓道選抜大会 女子団体戦（ベスト16）・個人戦出場

【令和6年度】

- ・インターハイ（ありがとうを強さに変えて 北部九州総体 2024） 女子団体戦（優勝）・個人戦出場